

水戸市告示第 339 号

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により，水道事業及び下水道事業の業務状況（令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日）を別紙のとおり公表する。

令和 6 年 11 月 1 日

水戸市長 高 橋 靖

水戸市水道事業業務状況説明書

(令和6年度 上半期)

自 令和6年4月1日
至 令和6年9月30日

1 令和6年度上半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）の業務状況

(1) 事業の概況について

給水件数	14万3,636件（令和6年9月30日現在）
給水人口	26万5,384人（令和6年9月30日現在）
上半期総配水量	15,994,397 m ³
1日平均配水量	87,401 m ³

(2) 予算の執行状況について

収益的収支（給水などの営業関係収支）については、収入率が44.7%、支出率が18.6%となっており、主な収入は水道料金で、収入の96.1%を占めています。

資本的収支（設備投資の収支）については、収入率が1.6%、支出率が16.8%となっており、主な収入は国庫補助金及び一般会計からの繰入金で、主な支出は建設改良費及び企業債償還金となっています。

執行状況については、次のとおりです。

（消費税及び地方消費税込）

区 分		予 算 額	収入済額/支出済額	収入率/支出率
収益的	収入	65億6,317万4千円	29億3,329万円	44.7%
	支出	61億1,890万円	11億3,929万2千円	18.6%
資本的	収入	28億4,470万4千円	4,528万5千円	1.6%
	支出	61億314万4千円	10億2,674万7千円	16.8%

(3) 企業債の状況について

水道事業会計の企業債残高は213億2,148万6千円であり、借入先区分別残高としては、財務省が31億9,603万7千円（15.0%）、地方公共団体金融機構が164億8,324万9千円（77.3%）、銀行等が16億4,220万円（7.7%）となっています。

2 令和5年度決算の状況について

(1) 収入及び支出の状況について

収益的収支につきましては、事業収益6,151,089,624円（消費税及び地方消費税込6,701,932,642円）、事業費用5,520,484,921円（消費税及び地方消費税込5,889,145,477円）で差引630,604,703円（消費税及び地方消費税込812,787,165円）の純利益となり、当年度未処分利益剰余金は630,604,703円となりました。

資本的収支（消費税及び地方消費税込）につきましては、収入額1,765,892,871円、支出額4,167,994,285円となり、収入額が支出額に不足する額2,402,101,414円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

(2) 企業債の年度末残高

区 分	現 在 高
水 道 事 業 会 計	220億7,604万9,792円

水戸市下水道事業業務状況説明書

(令和6年度 上半期)

自 令和6年4月1日
至 令和6年9月30日

1 令和6年度上半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）の業務状況

(1) 事業の概況について

水洗化件数 9万9,724件（令和6年9月30日現在）
 水洗化人口 19万8,041人（令和6年9月30日現在）

(2) 予算の執行状況について

収益的収支（汚水の処理などの事業活動における収支）については、収入率が48.0%、支出率が14.2%となっており、主な収入は下水道使用料で、収入の40.5%を占めています。

資本的収支（下水道施設の建設などにおける収支）は、収入率が14.7%、支出率が28.0%となっており、主な収入は公共下水道事業受益者負担金及び一般会計からの繰入金で、支出の主なものは建設改良費及び企業債償還金となっています。

執行状況については、次のとおりです。

（消費税及び地方消費税込）

区 分		予 算 額	収入済額/支出済額	収入率/支出率
収益的	収入	96億7,681万7千円	46億4,179万3千円	48.0%
	支出	95億440万円	13億4,534万5千円	14.2%
資本的	収入	75億4,778万2千円	11億1,101万1千円	14.7%
	支出	116億6,071万1千円	32億6,359万9千円	28.0%

(3) 企業債の状況について

下水道事業会計の企業債残高は653億7,163万6千円であり、借入先区分別残高としては、財務省が203億7,359万5千円（31.2%）、地方公共団体金融機構が402億1,004万2千円（61.5%）、銀行等が47億8,799万円9千円（7.3%）となっています。

2 令和5年度の決算状況について

(1) 収入及び支出の状況について

収益的収支につきましては、事業収益9,117,615,927円（消費税及び地方消費税込9,462,513,192円）、事業費用8,867,549,358円（消費税及び地方消費税込9,018,221,075円）で差引250,066,569円（消費税及び地方消費税込444,292,117円）の純利益となり、当年度未処分利益剰余金は250,066,569円となりました。

資本的収支（消費税及び地方消費税込）につきましては、収入額5,722,238,881円、支出額は9,727,023,219円となり、収入額が支出額に不足する額4,004,784,338円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

(2) 企業債の年度末残高

区 分	現 在 高
下 水 道 事 業 会 計	682億3,179万349円